フェローズシュレッダ

AutoMax 80M
取扱説明書・保証書

コクヨ株式会社
〒537-8686
大阪市東成区大今里南6丁目1番1号
TEL 0120-220-594
https://kokuyo.co.jp

目 次

目次.....p.1
はじめに.....p.1
安全上のご注意.....p.1 ～ 4
内容物の確認.....p.5
設置方法.....p.6
各部の名称と働き.....p.7 ～ 8
本製品の特長.....p.8
オートフィード（自動給紙細断）.....p.9 ～ 11
マニュアルフィード（手動細断）.....p.12
本製品の付加機能.....p.13
カードの細断（マニュアルフィード時のみ）.....p.13
オートフィードとマニュアルフィードの同時細断.....p.13
こんなときは….....p.14
紙詰まりを起こしたときは.....p.14
紙が押し戻されたときは.....p.14
本製品が停止したときは.....p.15
警告ランプが点灯しているときは.....p.15
ゴミがいっぱいになったら.....p.16
お手入れ方法.....p.17
シュレッダ専用オイルについて.....p.18
故障かな？と思ったら.....p.19
製品仕様.....p.20
保証書.....p.23

はじめに

フェローズシュレッダ AutoMax 80M（以下、本製品）をお買い求めいただき、ありがとうございます。
本製品は安心してお手軽にご利用いただけるシュレッダです。
使用の前に必ず本書をよくお読みいただき、安全にお取り扱いください。また、本書はすぐ取り出せる場所に保管してください。

安全上のご注意

本製品の設置場所や電源に関するご注意など、使用前に知っておいていただきたい注意事項を記述しています。本製品を安全にお使いいただくために必ずお読みになり、注意事項をお守りください。

絵表示

本製品を正しくお使いいただき、お客様ご自身や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、次のような警告表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警　告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。
⚠ **注　意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

＜絵表示の例＞

⚠	⃠	❗
気を付ける必要があることを表しています。	してはいけないことを表しています。	しなければならないことを表しています。

⚠ 警　告

取扱説明書参照

●ご使用になる前に必ず本書をよくお読みいただき、安全にお取り扱いください。

カッタに触れるな

●カッタ部には絶対に手を触れないでください。
けがをする恐れがあります。

巻き込まれ注意

●投入口、排出口、機械内部には絶対に手や棒などを入れないでください。
巻き込まれてけがをする恐れがあります。

子供使用禁止

●乳幼児や小さなお子様、ペットを近づけたり、近くで使用しないでください。
思わぬ事故の恐れがあります。
●絶対にお子様に触れさせたり、使わせたりしないでください。
やけど、感電、けがの恐れがあります。

手を入れるな

●細断中は紙から手を離してください。絶対に指で紙を押し込んだり、紙をつかんだりしないでください。特に、小さな紙を細断するときは注意してください。
紙を持ったままだと、手も投入口に引き込まれ、けがをする恐れがあります。
●カッタ部には絶対に手を触れないでください。
けがをする恐れがあります。
●投入口、排出口、機械内部には絶対に手や棒などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

衣類巻込み注意

●ネクタイ、ネックレス、カードホルダー、服の袖や裾、ブレスレット、腕時計のベルトやチェーンなどを投入口やその近くにたらさないでください。
投入口に引き込まれてけがの原因となることがあります。

髪の毛巻込み注意

●髪の毛を投入口やその近くにたらさないでください。
投入口に引き込まれてけがの原因となることがあります。

可燃スプレー厳禁

●可燃性のエアゾールスプレー（潤滑剤やエアーダスター）などを吹きかけないでください。
スプレーから噴射された可燃性ガスが本製品内部に残留し、引火や爆発を起こす恐れがあります。

電源プラグを抜く

●作業が終わったら電源を切ってください。また、使用しないときはコンセントから電源プラグを抜いてください。
火災や思わぬ事故の原因となることがあります。

●万一、発熱したり、煙が出たり、異臭がするなど異常な状態になったときは、ただちに使用を中止して電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、火災や感電の恐れがあります。

●万一、水などの液体や金属片などの異物が本体内部に入ったときは、ただちに使用を中止して電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、火災や感電の恐れがあります。

禁止

●表示された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。
火災、感電の恐れがあります。

●タコ足配線をしないでください。
火災、感電の恐れがあります。

●電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また、電源コードに重い物を載せたり、無理に曲げたり、引っぱったりしないでください。
火災、感電の恐れがあります。

●ボタン電池などの電池類は、絶対に投入しないでください。
電池が破裂して火災が発生する恐れがあります。

●本製品が故障したり、一部が破損したまま使用しないでください。
けがや感電の恐れがあります。

分解禁止

●お客様ご自身による分解、改造、修理は絶対に行わないでください。
火災、感電、けがの恐れがあります。

濡れ手禁止

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。

⚠ 注　意

注意

●本製品は紙専用のシュレッダです。他の用途には使用しないでください。マニュアルフィードでは、ホッチキスは 11 号針まで、ゼムクリップは 28mm まで細断可能です。それ以上大きいものは、必ず取り除いてから細断してください。オートフィードでは細断できません。
故障の原因になります。

●本製品は付加機能として、マニュアルフィードでのカードの細断も可能です。オートフィードでは細断はできません。

●本製品は日本国内専用として製造、販売しています。日本国外で使用した場合のいかなる結果についても弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

●ゴミはこまめに捨ててください。
ゴミが一杯になると、カッタにゴミがからまって故障する恐れがあります。

●紙詰まりしたときはすぐに電源を切ってください。

安定した場所に設置

●**水平で安定した場所に設置してください。**
ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に設置すると、落ちたり倒れたりしてけがや故障の原因となることがあります。

●**本製品は重心の位置が高いので、転倒に注意してください。万一、操作中に転倒した場合は、電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてから起こしてください。**

禁止

●**以下の物を投入しないでください。**
・粘着シール、宅配便の送り状、各種テープ類など糊の付いた紙
・各種フィルム、ビニール、ポリ袋、OHP シート
・カーボン紙、インクリボン、新聞紙
・布類
・和紙など繊維の粗い紙
故障や詰まりの原因になります。

●**濡れた紙や湿った紙を投入しないでください。**
火災、感電の恐れがあります。

●**細断してはいけない書類を投入口の近くに置かないでください。**
誤って投入口に入り、細断される恐れがあります。

●**直射日光のあたる場所に設置しないでください。**
電子部品の誤動作や故障の原因となることがあります。

●**熱器具に近い場所に設置しないでください。**
本体のキャビネットや電源コードが変形して、誤動作や火災、感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

●**本製品はコンセントの近くに設置してください。また、いつでも簡単に電源プラグが抜き差しできるように、コンセントの近くに物を置かないでください。**

●**電源コードは折ったり束ねたりせず、伸ばした状態で使用してください。**
束ねたまま使用すると、過熱の原因になります。

●**電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持ってください。コード部分を持って引っぱらないでください。**
コードが破損して、火災や感電の恐れがあります。

水をかけない

●**本製品に水などの液体をかけないでください。**
火災、感電の恐れがあります。

物を置かない

●**本製品の上に花瓶や植木鉢、コップ、水の入った容器などを置かないでください。**
転倒して本製品内部に水が入ると、火災、感電の恐れがあります。

●**本製品の上に座ったり、乗ったり、物を載せたりしないでください。**
けがの原因となることがあります。

設置環境に注意

●**冷暖房機の近くや高温多湿になる場所、ほこりの多い場所では使用しないでください。**
火災、感電の恐れがあります。

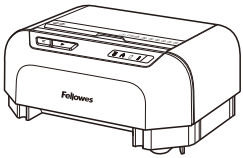
電源プラグを抜く

●**細断くずを捨てるときやお手入れをするとき、長期間使用しないとき、本製品を移動するときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。**
火災、感電の恐れがあります。

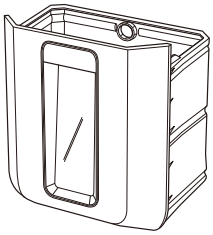
内容物の確認

下記のとおり、本体および付属品が同梱していることをご確認ください。

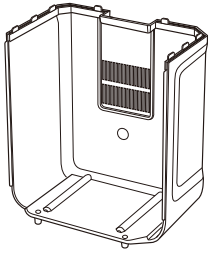
■本体



■専用ダストボックス



■キャビネット

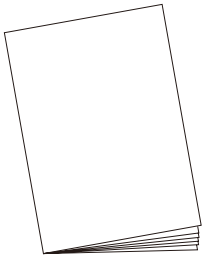


※出荷時に行う細断テストで使用した紙片が排紙口に残っていることがあります。ご了承ください。

■キャスター

※ストッパー付× 2（前方用）

■取扱説明書



設置方法

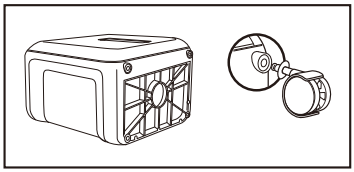
設置する場所について

- 電源コンセントに近く、電源プラグの接続および取り外しが容易にできる場所に設置してください。
- 水平な場所に設置してください。
- 換気のよい場所に設置してください。
- 本製品を壁や家具などから 10cm 以上離して設置してください。
- 小さなお子様やペットが触れて誤って作動しないよう、手の届かない場所に設置してください。また、使用後に電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

組み立て方法

1 **キャスターを取り付けます。**

キャビネットを横にしてキャスターを強く差し込みます。

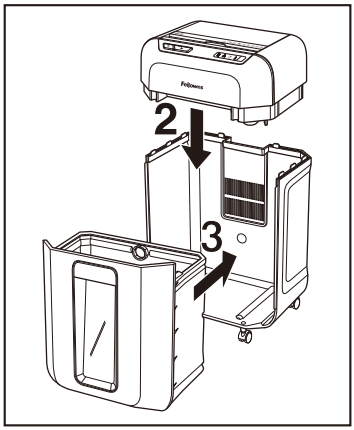


2 **キャビネットの上に本体をはめ込みます。**

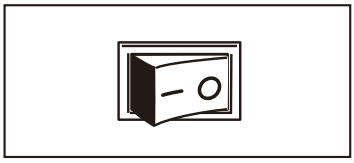
指を挟まないように注意してはめ込んでください。

3 **専用ダストボックスを取り付けます。**

インターロックスイッチに突起がかみ合うよう、取り付けてください（7 ページ参照）。

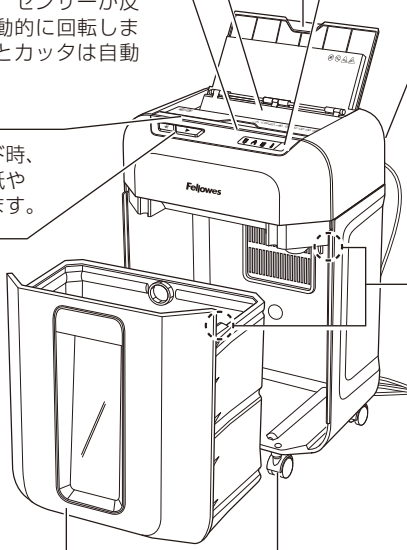


4 **背面の電源スイッチがオフになっていることを確認し、電源プラグをコンセント（AC100V）に差し込みます。**



各部の名称と働き

■シュレッダ本体



紙詰まりアクセスパネル
オートフィードでの紙詰まりで、逆転キーを操作しても取り除けないときは、紙詰まりアクセスパネルを開けて詰まった紙を取り除いてください。

オートセンサー（内部）
ペーパー投入口の中央にあるセンサーです。自動細断モードのとき、細断するものがペーパー投入口の中央を通過すると、センサーが反応してカッタが自動的に回転します。細断が終わるとカッタは自動的に停止します。

ペーパー投入口
マニュアルフィード時、ここから細断する紙やカード類を投入します。

操作キー
オートフィードの細断スタート、紙詰まりのときの逆転の操作を行います。

専用ダストボックス
本体にセットしてご利用いただくための専用のダストボックス（引き出し式）です。

自動給紙トレイ
オートフィードで細断するときに自動給紙トレイを開き、紙をセットします。

警告ランプ
紙詰まり、オーバーヒート、専用ダストボックスが開いているとき、および専用ダストボックスが細断くずでいっぱいになったときに点灯して、本体の状態をお知らせします。

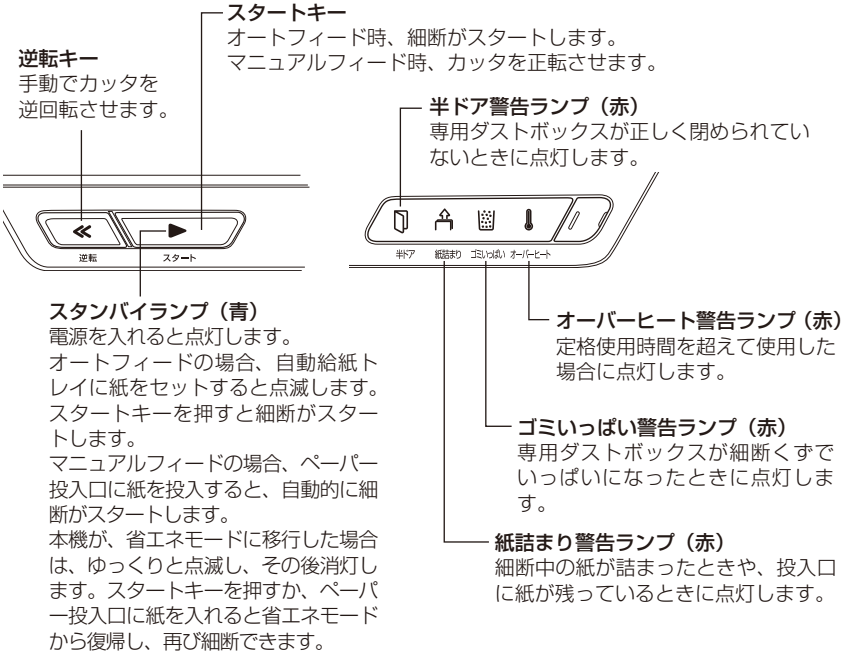
電源スイッチ（背面）
電源のオン / オフの操作を行うスイッチです。

インターロックスイッチ
安全のため、専用ダストボックスが正しくセットされていないときは、カッタが回転しません。専用ダストボックスの内側にある突起がこのスイッチを押すことによって本製品が使用できるようになります。

電源プラグ
コンセント（AC100V、50/60Hz）に差し込みます。

キャスター
移動用にキャスターがついていますが、操作中は絶対に動かさないでください。

■操作キーと警告ランプ



本製品の特長

オートフィードとマニュアルフィード

本製品は、80 枚までの紙を自動給紙トレイにセットして細断することができます（オートフィード）。また、手差しで都度細断することができます（マニュアルフィード）。細断物の量やご使用環境に応じてお使い分けください。

細断できるもの

		紙	カード	CD/DVD	ゼムクリップ	ホッチキス
AutoMax 80M	オートフィード	○	×	×	×	×
	マニュアルフィード	○	○	×	○	○

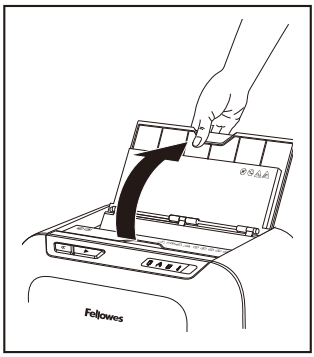
オートフィード（自動給紙細断）

注 意 オートフィードでは、カードの細断はできません。マニュアルフィードで細断してください。

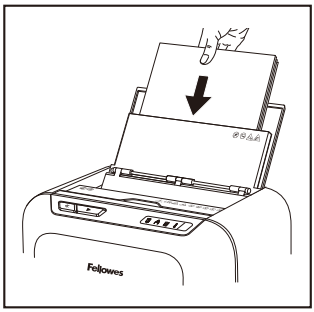
1 **本体背面の電源スイッチがオフになっていることを確認し、電源プラグをコンセント（AC100V）に差し込みます。**

2 **電源スイッチをオンにします。**
スタンバイランプ（青）が点灯します。

3 **自動給紙トレイを開けます。**

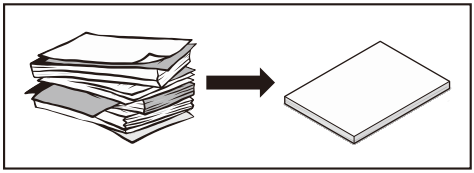


4 **自動給紙トレイに細断する紙をセットします。**
スタンバイランプが点滅します。



【紙のセット方法について】

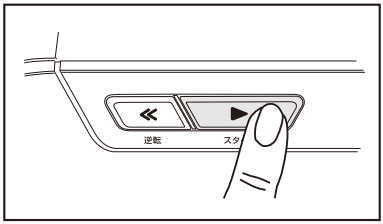
- 細断する紙はきちんと揃えてから自動給紙トレイにセットしてください。



- ホッチキス、ゼムクリップは取り除いてください。
- 折りたたんだ紙はセットしないでください。
- 紙はまっすぐセットしてください。

5 スタートキーを押します。

紙の細断が始まります。



6 細断が終了すると、自動的にカッタが停止します。

7 使用後は本体背面の電源スイッチを切ります。

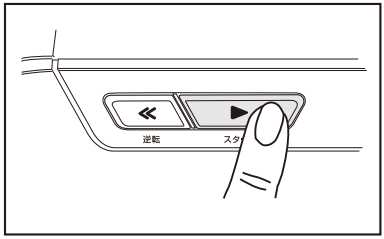
使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

注 意

- 最大細断給紙枚数は A4 サイズコピー用紙で 80 枚です。（コピー用紙 64g/m²）
- 規定の細断枚数より多い紙を一度にセットされますと、故障の原因になります。規定枚数より多い紙の投入で故障の場合は、保証期間内であっても有償修理になりますのでご注意ください。

省エネモード

電源 ON のまま 2 分以上使用しないでいると、省エネモードになります。このときスタンバイランプがゆっくり点滅します。その後約 5 分経過すると消灯します。スタートキーを押すか、ペーパー投入口に紙を入れると省エネモードから復帰し、再び細断できます。

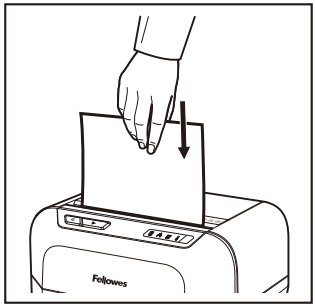


マニュアルフィード（手動細断）

1 **本体背面の電源スイッチがオフになっていることを確認し、電源プラグをコンセント（AC100V）に差し込みます。**

2 **電源スイッチをオンにします。**
スタンバイランプ（青）が点灯します。

3 **ペーパー投入口に細断する紙をまっすぐに入れ、すぐに手を離します。**
細断する紙を挿入すると、ペーパー投入口中央のオートセンサーが感知して、自動的にカッタが回転します。細断が終了するとオートストップ機能により、自動的に停止します。



警 告

紙を投入したらすぐに手を離してください。ずっと紙をつかんでいると、投入口に手が引き込まれ、けがをする恐れがあります。小さい紙を投入するときは特に注意し、絶対に指で押し込んだりしないでください。

4 **細断が終了すると、自動的にカッタが停止します。**

5 **使用後は本体背面の電源スイッチを切ります。**
使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

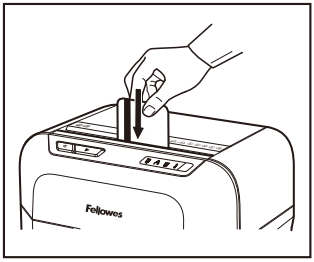
注 意

- 最大細断枚数は、A4 サイズコピー用紙で 8 枚です。（コピー用紙 64g/m²）
- 規定の細断枚数より多い紙を一度に投入されますと、故障の原因になります。規定枚数より多い紙の投入で故障の場合は、保証期間内であっても有償修理になりますのでご注意ください。
- 紙の幅が投入口よりも広い紙を折りたたんで投入する場合は、紙の厚みが増しますので、その分一度に細断できる枚数が減ります。

本製品の付加機能

カードの細断（マニュアルフィード時のみ）

本製品は紙専用のシュレッダですが、付加機能としてマニュアルフィードでは、カードの細断も可能です。



ペーパー投入口からカードを入れます。

- カードは必ず 1 度に 1 枚ずつ入れてください。
- カードはペーパー投入口の中央に入れてください。端に入れるとオートセンサーが反応しない場合があります。（7 ページ参照）
- カードは奥までしっかり差し込んでください。カードをしっかり差し込まないと、細断くずがペーパー投入口に詰まる場合があります。

【細断できるカード】
クレジットカード、キャッシュカード等プラスチック製カード、紙製カード

【細断できないカード】
プリペイドカード等薄型のカードや定期券、運転免許証、ラミネートされたカード

警 告 カードは上部をつまんで投入してください。

オートフィードとマニュアルフィードの同時細断

本製品は付加機能としてオートフィード時にマニュアルフィードで同時細断することも可能です。
オートフィード時にマニュアルフィードで同時細断する際は、マニュアルフィードで投入できる枚数が変わります。（20 ページ参照）

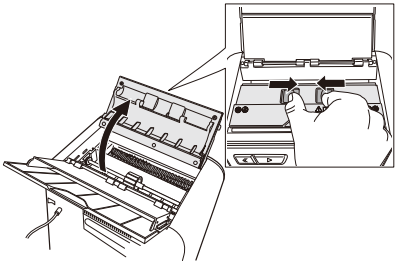
こんなときは…

紙詰まりを起こしたときは

お使いの状況により、自動給紙トレイ内、もしくはペーパー投入口に紙が詰まり、細断が停止することがあります。このとき、本体の紙詰まり警告ランプが点灯します。

（オートフィード時）
自動給紙トレイの紙詰まりしていない紙を取り除いてから、逆転キーを押してカッタを逆回転させ、詰まった紙を引き出してください。

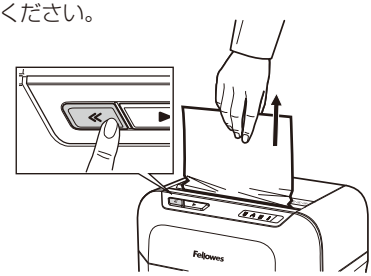
また、詰まった紙が引っかかって取れにくい場合は電源スイッチを切り、紙詰まりアクセスパネルを開けて、詰まった紙を取り除いてください。詰まった紙を取り除いた後は、紙詰まりアクセスパネルを確実に閉めてください。



詰まった紙を取り除く際、カッタ部には絶対に手を触れないでください。

（マニュアルフィード時）
逆転キーを押すとカッタは逆回転します。紙詰まりを起こし、停止したときは逆転キーを押してカッタを逆回転させ、紙を上から取り除いてください。
また、詰まった紙が引っかかって取れにくい場合は逆転キーとスタートキーを２、３回交互に押して、詰まった紙を取り除いてください。
詰まった紙を無理に引き抜いたり、何度も逆転キーとスタートキーを交互に作動させると、故障の原因となる恐れがありますのでご注意ください。

※上記操作でトラブルを解消できない場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、コクヨ株式会社　フェローズ製品カスタマー窓口 https://kokuyo.jp/fellowes-support/ までご連絡ください。



紙が押し戻されたときは（オートリバース機能）

本製品にマニュアルフィードで規定枚数以上の紙が投入されたとき、自動的にカッタが逆回転して紙を押し戻すことがあります。紙がペーパー投入口から押し出されたときは、紙を上から取り除いてください（クリーニングのためカッタが数秒間、正回転します）。その後、紙を規定枚数以内に分けて細断してください。

本製品が停止したときは（オーバーヒートプロテクション機能）

本製品は、連続使用をしたときなどにモーターのオーバーヒートによる故障を防ぐ、オーバーヒートプロテクションという機能を持っています。
10 分間以上（ご使用の状況により前後する場合があります）の連続運転をしたり、用紙をかみこんで刃の回転が止まってしまったときなどにこの機能が働き、モーターが停止します。このとき、オーバーヒートランプが点灯します。
このオーバーヒートプロテクション機能が働き本製品が停止したときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてそのままにしてください。
約 40 分後に再び使用することができます。

警告ランプが点灯しているときは

		原因	対策	参照ページ
	点灯	定格使用時間を超えています。	電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、40 分以上そのまま放置してください。	このページ
	点灯	細断中の紙が詰まったか、投入口に紙が残っています。	投入口にある紙を取り除いてください。	14 ページ
	点灯	専用ダストボックスにゴミがいっぱいになりました。	ゴミを処分してください。	16 ページ
	点灯	専用ダストボックスが正しく閉められていません。	インターロックスイッチに突起がかみあうようにして、専用ダストボックスを正しく閉めてください。	7 ページ

ゴミがいっぱいになったら…

ゴミがいっぱいになったら、下記の手順に従って捨ててください。

1 **本体背面の電源スイッチを切ります。**

2 **電源プラグをコンセントから抜きます。**

3 **専用ダストボックスを引き出し、ゴミを捨てます。**

4 **ゴミを捨てた後、インターロックスイッチに突起がかみ合うようにして、専用ダストボックスを取り付けます。**

- ゴミがたまったまま使用すると細断した紙が再度刃に巻き込まれてトラブルの原因となる場合がありますので、なるべく早めに処分するようにしてください。
- 専用ダストボックスが細断くずでいっぱいになると、本製品は動作しません。このときゴミいっぱい警告ランプが点灯します。細断中であれば自動的にカッタが止まります。
- 紙やカードの切り屑は各自治体の規定に従って処分してくださいますよう、お願いいたします。

注 意

専用ダストボックスが正しくセットされていないと、電源スイッチをオンにしても本製品は動作しません。インターロックスイッチが押されているか確認してください。（7 ページ参照）

お手入れ方法

電源スイッチがオフになっていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。

本体の外側樹脂部を柔らかい布で乾拭きします。汚れがひどいときは、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。

注 意

- シンナー、ベンジンなどは変色、変形、傷の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- 本体及び専用ダストボックスにワックス等をかけないでください。

警 告

- エアゾール式の潤滑油及びクリーナー等は絶対に使用しないでください。マシン内部で引火し爆発や火災の恐れがあります。
- カッタの刃には手を触れないよう、充分ご注意ください。

警 告

火災や爆発の危険がありますので、絶対に可燃性のスプレー式潤滑剤をシュレッダ機構部に噴霧したり、エアゾールをペーパー投入口から噴霧しないでください。
シュレッダの自動給紙トレイ、ペーパー投入口、カッタ部、ダストボックス等にスプレーを噴霧した場合、シュレッダ内部に可燃性ガスが滞留し、シュレッダの主電源スイッチの切り替え接点の火花、静電気の火花、内部モーター整流子の火花等が引火して、火災や爆発を引き起こす恐れがあります。

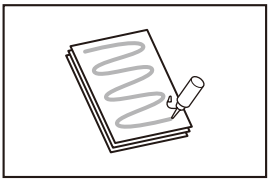
【使用厳禁のスプレー】
・可燃性スプレー式の潤滑剤
・可燃性スプレー式のエアーダスター
・可燃性スプレー式のオイル、グリス、シリコングリス
・可燃性スプレー式の洗剤
・可燃性スプレー式の汚れ落とし剤
・可燃性スプレー式の静電気除去剤
・可燃性スプレー式の錆止め、錆び落とし剤
・その他エアゾール式の可燃性スプレー全て

シュレッダ専用オイルについて

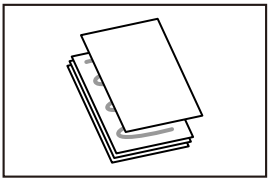
カッタのお手入れは、マニュアルフィードで行い、純正の専用オイルをご使用ください（フェローズシュレッダ専用オイル）。

シュレッダ専用オイルの使い方

1 A4 コピー用紙 3 ～ 4 枚を重ねた後、一番上の紙に図のように専用オイルを塗ります。



2 オイルを塗った紙の上にもう 1 枚コピー用紙を重ねます。



3 できあがった紙をそのままシュレッダにかけます。

故障かな？と思ったら

★動作しない

- 電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？ …… P9、12
- 電源スイッチがオンになっていますか？ …… P9、12
- 細断する紙がオートセンサーの部分を通るように投入していますか？ …… P12
- 紙詰まりを起こしていませんか？ …… P14
- 専用ダストボックスが正しくセットされていますか？ …… P16
- オートフィードで、自動給紙トレイに紙を正しくセットしましたか？ …… P9
- 省エネモードになっていませんか？ …… P11

★細断中に止まった・細断できない

- 紙を多く入れ過ぎていませんか？ ……P11、12
- 投入口の幅より大きい紙を入れようとしていませんか？ …… P12
- 紙をななめに入れていませんか？ …… P12
- オーバーヒートプロテクション機能が働いていませんか？ …… P15

以上のことを確認していただき、それぞれの参照ページに従って対処してください。
もし解決できない場合は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてコクヨ株式会社　フェローズ製品カスタマー窓口　https://kokuyo.jp/fellowes-support/ までご連絡ください。

製品仕様

品　名	AutoMax80M
寸法W×D×H(mm)	340 × 305 × 610 mm
質　　量	9 kg
電　　源	AC100 V　50/60 Hz
消 費 電 力	230 W
電　　流	2.3 A
定格使用時間	10 分間
投 入 幅	220 mm
細 断 形 状	4 mm × 12 mm ミニカット
最大細断給紙枚数	80 枚（オートフィード時）
最大細断枚数 *1	8 枚(マニュアルフィード時) 6枚(オートフィードとマニュアルフィードの同時細断時)
定格細断枚数 *2	6 枚(マニュアルフィード時) 4枚(オートフィードとマニュアルフィードの同時細断時)
細 断 速 度	2.2 m/分
ダストボックス容量	17 ℓ

＊1　10 回連続して同時に細断できる枚数（90%以上の細断率）
＊2　定格使用時間内において連続して同時に細断できる枚数（90%以上の細断率）